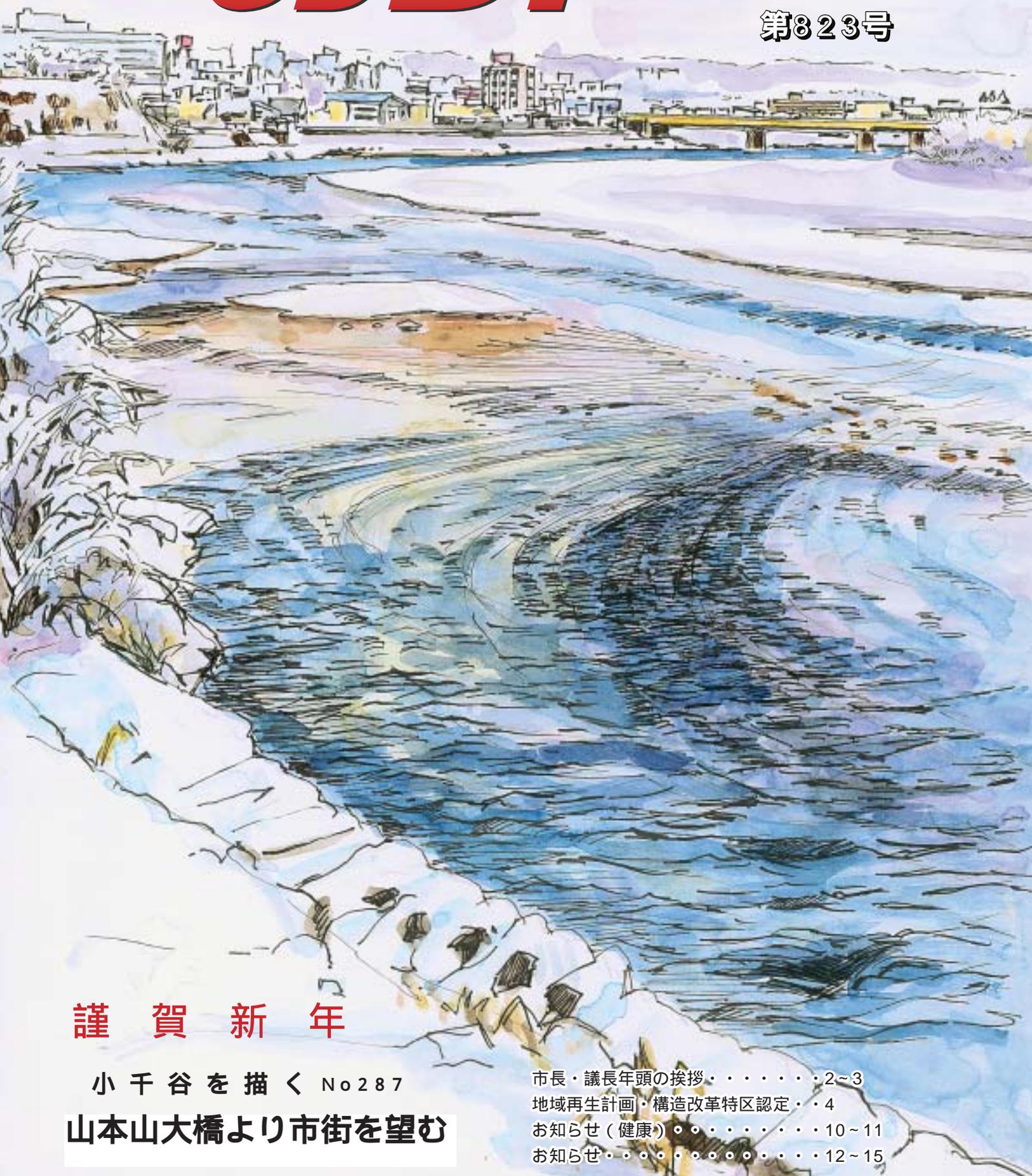


市報

おぢや

2006.1月号

第823号



謹賀新年

小千谷を描く No287

山本山大橋より市街を望む

市長・議長年頭の挨拶・・・・・・・・・・2~3

地域再生計画・構造改革特区認定・・・4

お知らせ(健康)・・・・・・・・・・10~11

お知らせ・・・・・・・・・・12~15

年頭のご挨拶



小千谷市復興計画に基づき

復旧復興と災害に強いまちづくりを推進

小千谷市長 関 広一

新年明けましておめでとうございます。

昨年中は、市政に対しまして皆様方より温かいご支援を賜りましたことに、心から感謝を申し上げます。

さて、新潟県中越大地震から1年以上が経過し、2度目の新年を迎えたわけです。復旧作業にそれぞれ追われながらの方や仮設住宅での新年を迎えられた方も大勢おられますが、昨年の10月23日には「復興祈念式典」を行い、皆様とともに「復興への誓い」を新たにいたしました。

おかげさまで、皆様のご協力により震災復旧工事の進捗状況につきましては、公共下水道工事はほぼ発注が終了しました。道路・河川・農地農業用施設なども9割以上が既に発注済みであり、市内のいたるところ

で工事が進められております。例年より早い降雪を迎え、皆様にはいろいろご迷惑をおかけいたしてあり、お許しをいただきたいと存じます。

また、昨年の7月には、市民の皆様とともに「小千谷市復興計画」を策定いたしました。これからは、この復興計画に基づき小千谷市のまちづくりを進めていくわけですが、震災による復旧・復興はもちろんのこと、震災以前から重要テーマとなっている事業も、復興には欠かせない事業もあります。復興には、多くの時間と費用、そして大きなエネルギーを必要としますが、全力で取り組んで参りたいと思えます。

その第一歩となります平成18年度予算におきましては、この「小千谷市復興計画」及び「小千谷市総合計画」に基づき、今後のまちづくりを行うため

の編成作業を進めております。

いずれにいたしましても、本当の復興という意味でのスタートの年となります。この地震を教訓に、より災害に強い都市基盤をはじめ生活環境整備を図ってまいりたいと考えております。

さらに全国からご支援いただきました恩返しといたしまして、当市を立派に復興することはもちろんであります。我々が震災で得た教訓を今後のために役立てていただくことも責務であると考えております。

今後も市民の皆様とともに英知を出し合いながら、小千谷市復興へ努力してまいりたいと思えますので、どうかご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。年頭のご挨拶といたします。



川井から信濃川を望む

年頭のご挨拶



小千谷市議会議長 猪又周治

復旧その後の課題を怠りなく^{おこた}

存在感のある議会であるために

明けましておめでとございます。

新しい年が自然災害のない平穏な年であることを願ってやみません。大震災から1年2カ月余りが過ぎましたが、今年も仮設住宅で新年を迎えられた方々や住宅の損壊を受けて再建途中であるとか、補修が完了しないで不自由な生活を送られている方々が多いことに心苦しさを払拭^{はらいつく}しきれないところがあります。今年こそは、住宅の再建と生活の再建に目途をつけることができる年であっていただきたいと思えます。

昨年は、19年振りの豪雪に見舞われたことから、復旧・再建の着手の遅れを余儀なくされましたが、公共的な施設などの復旧は一定の進捗があり、今年中にはほぼ震災前に近い状況に戻るものと思われまます。しかし、市民の皆様の生活に関して精神

的・経済的な重圧が軽減されるかが気がかりです。

過ぎた1年は震災復旧と復興に全力を注いだ年でありましたが、今年はその後の課題であります。全国から支援と注目を受けての復興特需は、あと1年で終わります。その後の落差の大きさを誰もが危惧^{きく}するところがあります。復興計画が策定されましたが、この実現には全市民の取り組みが必要であり、長い期間と多くの資金を要します。

国の三位一体の改革による地方への財源移譲は確かに進んでいます。人口の少ない自治体には厳しい財政環境となることは必至です。行政は、そして議会は、将来展望を見据えた小千谷市のあるべき姿を復旧その後の課題として取り組むことが求められていると考えます。

地方分権は、自己決定と自己責任に基づいた本来の地方自治の実現であり、大きな転換期にあります。地方自治体個々の豊かな発想力や創造力が試されるものであり、地域ブランドや独自施策によって都市間競争に打ち勝つ地域づくりであって、地方自治体の力量が問われています。そして、地方自治体の飛躍的な権限拡大に伴って、議会のチェック機能の強化と政策立案能力の向上が、これまで以上に求められています。

議会は、住民に最も身近な代表機関として、住民に対して存在感のあるものであるために、緊張感を持って議員一同精進したいと考えておりますので、皆様方の一層のご指導をお願い申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

「豊かな自然と文化が織りなす復興のまちづくり」計画
 (地域再生計画)
 「おぢや農都共生特区の変更」(構造改革特区)
 (地域再生計画)

認定

地域再生計画・構造改革特区が新たに認定されました。11月22日付で認定を受け、12月6日(火)首相官邸で認定書の授与式がありました。



農都共生事業でクラインガルテンが建設される塩殿からの眺望

小千谷市「豊かな自然と文化が織りなす復興のまちづくり」計画
 (地域再生計画)

平成17年4月1日に施行された地域再



首相官邸で認定を受ける関係者

生活に基づいて、地域再生基盤強化交付金を活用し、公共下水道の整備や上片貝地区農業集落排水事業を進めます。

事業期間

公共下水道

平成17年度、21年度

農業集落排水施設

平成18年度、21年度

「おぢや農都共生特区」の変更
 (構造改革特区)

濁酒(どぶろく)の製造免許の取得要件が緩和されます。自分で作った米を使い、民宿や食堂などの飲食の提供できる方が対象になります。関心のある方お気軽に農林課・農都共生係までお問い合わせください。

■83・3510

被災地の冬に備え

国土交通省から支援

雪上車と小型ロータリー車到着



荷頃、塩谷間に配備される雪上車



応急仮設住宅の除雪に利用される小型ロータリー車

被災地である小千谷市の冬に備え、市が要望していた雪上車(5人乗り)と小型ロータリー車各1台が国土交通省から届き、関係者による引き渡し式が12月20日(火)市役所脇で行われました。

雪上車は昨年に1月から3月までの間、荷頃、塩谷間で塩谷の人たちの雪下ろしのため、の一時帰宅に利用され、住民の安全を守って活躍しました。

今年も昨年同様、荷頃、塩谷間に配備され、豪雪時の交通手段として利用されます。

また、小型ロータリー車は歩道の除雪や応急仮設住宅内の狭い道路などの除雪に利用されます。

塩谷町内の避難勧告を解除

小千谷市は新潟県中越大震災により、避難勧告が出されていた東山地区塩谷集落の勧告を12月26日(月)正午に解除しました。

これにより市内で避難勧告が出されているのは3町内21世帯71人となりました。

避難勧告が解除されたところ

避難勧告の解除日時

平成17年12月26日(月)正午

避難勧告の解除地区

塩谷 48世帯185人(平成16年11月1日発令)

解除理由

東山地区内の国道291号の交通規制が12月22日をもって解除されたこと、塩谷集落への進入道路である県道小千谷川口大和線が12月20日に開通(1車線通行可能)したため

新潟県中越大震災の余震や新たな地震による地盤被害の拡大が認められないことから、宅地崩落の危険性が解消されたものと判断されるため。

避難勧告が継続している町内

(平成17年12月26日現在)

東山地区

1町内2箇所 11世帯 41人

十二平11世帯 41人(平成16年11月1日発令)

東山地区以外

2町内3箇所 10世帯 30人

上ノ山4世帯 10人(平成16年10月25日発令)

蕨生 2世帯 2人(平成16年11月19日発令)

蕨生 4世帯 18人(平成16年11月23日発令)

合計 3町内 4箇所 21世帯 71人



国道291号通行規制

12月22日正午に一部解除

東山トンネルの規制なくなる

新潟県中越大震災で被災した小千谷市～長岡市(旧山古志村)を結ぶ国道291号の通行規制が12月22日(木)正午に一部解除されました。

通行規制が解除されたのは、復旧工事が行われている長岡市東竹沢～小千谷市小栗山間のうち、小栗山～南荷頃の2キロと、南荷頃～長岡市古志竹沢間の3キロです。

この通行規制の一部解除により、市内大字小栗山地内で行われてきた検問はなくなりました。

当日は11時30分から大字小栗山地内で国土交通省による「国道291号災害復旧事業一部開通式」が行われ、小千谷市、長岡市のほか地域の関係者が出席しました。

式典の後、正午に開通式が行われ、新潟県の車両に先導された地元のみなさんの車両が列をつくり、後に続きました。



二年参りの人たちで賑わう二荒神社



108発の花火で新年を迎えた片貝浅原神社



柔道スポーツ少年団初稽古



家庭に年賀状を届ける小千谷郵便局元旦出発式



剣道スポーツ少年団初稽古



千谷応急仮設住宅地内の雪原では諏訪キャンドル隊のみなさんによって1,000個のアイスクャンドルが点灯ー17日(土)



黄色いサンタクロース（ひまわりおじさん）が仮設住宅や保育園を慰問ー24日(土)



塩谷仙竜神社では地元住民が製作したしめ縄の飾り付けー24日(土)



東京のマジックボランティアが南保育園などを慰問ー15日(木)



元中子応急仮設住宅で餅つきをするアートトラック哥磨会のメンバーと入居者ー18日(日)

優勝した宮崎・国松組



2位になった五十嵐・星野組



ソフトテニス

市内の2組全国大会出場権獲得

新潟県学年別小学生大会兼全国大会予選会が12月23日(祝)新潟市で開かれ、5年生の部に市内から出場した宮崎友樹(吉谷小)・国松聖真(千田小)組が優勝、五十嵐流光(小千谷小)・星野諒哉(小千谷小)組が2位となり、3月に千葉県白子町で開かれる全国大会への出場権を獲得しました。

佐藤隆三さん

学校保健文部科学大臣表彰受賞

佐藤隆三さん(平成2)は長年にわたり学校保健に貢献された功績が認められ文部科学大臣表彰を受賞されました。



佐藤さんは昭和38年に小千谷小学校を始めとする市内6小・中学校の耳鼻咽喉科医として学校医に就任されました。以来、児童生徒の健康管理に寄与するとともに、学校の衛生環境改善、健康増進にも積極的に助言・指導を行い、学校保健の向上に大きく貢献されています。

井佐英徳選手からのメッセージ

トリノオリンピックバイアスロン競技に出場する井佐英徳選手から市民のみなさんへメッセージをいただきました。



小千谷市民のみなさんへ

今回のトリノオリンピックに出場できるのも、日ごろの小千谷市民のみなさまのご支援があったからだと思います。

小千谷市民のみなさまに明るいニュースを、そして子どもたちには夢と希望を与え、少しでも小千谷市復興の原動力になればと思います。

ワールドカップも前半3戦が終了し、手応えを感じてきました。

トリノオリンピックでは、自分のもてる力を出し切り、一生懸命頑張ってきます。

応援よろしくお願いします。

井佐英徳

おぢや 文化財散歩 6

おぢやちぢみえちごじょうふ 小千谷縮越後上布

江戸時代初期に播州明石から来た堀次郎将俊（明石次郎）により、昔からこの地域で織られていた麻織物に改良を加えられたものが小千谷縮の始まりとされています。

原料は苧麻（青苧）と呼ばれる植物で、これを歯と爪先で細く裂いて糸にします。この作業を苧績（おとう）みといい、緋付け（模様入れ作業）、染め、織り、さらし（雪晒し、漂白作業）、仕上げ（湯もみ・足踏み作業）などの各工程を経て縮・上布が織り上がります。緯糸に強い撚りをかけ織り上げた布に「シボ取り」という仕上げ工程で縮ませてシボ（細かい波状のシワ）を出したものを縮、それらの作業をしないで布表面が平らなものを上布といいます。

伝統あるこの技術は、その価値が認められて昭和30年に全国で初めて国指定第1号の重要無形文化財となりました。

サンプラザ1階の小千谷織物工房「織之座」では、小千谷縮越後上布の歴史や詳しい紹介、さらに体験工房もあり小千谷の伝統技術に触れることができます。

小千谷市教育委員会



雪晒し



縮布製造之真図

作ってね！ この料理

いわし缶の完熟トマト煮

材料（4人分）

いわし味付け缶2個、完熟トマト缶1個、玉ねぎ中1個、にんにく1個、赤唐辛子1本、塩・こしょう各少々、オリーブ油少々

作り方

玉ねぎはくし型にし、細く切っておく。にんにくはみじん切り、赤唐辛子は好みで切る（細かく切れば切るほど辛くなる）オリーブ油を熱してにんにく、赤唐辛子を炒め、続いて玉ねぎを炒めてしんなりさせる。

完熟トマト缶は出して好みの大きさに切って、に全部加えて味を見て塩・こしょうをする。

にいわし缶の汁を先に入れ、煮立ててからいわしの身をほぐさずにそのまま入れて煮立ててから盛り付ける。

栄養価（1人分）

エネルギー140kcal、たんぱく質8.5g、脂質7.4g、塩分1.3g

（調理：小千谷市食生活改善推進委員）



乳幼児健診、予防接種の実施日には、先着順に番号札をお渡しします。
番号札配布開始時間 午前中に開催の場合 = 午前8時30分～、午後で開催の場合 = 正午～

うぶごえ教室

日時 / 2月23日(木)午前9時～12時
対象 / 妊婦、1歳未満のこどもの母親など
会場 / 健康センター
内容 / 母乳育児と妊娠中、産後の過ごし方などについて料理実習、会食交流会
持ち物 / 母子健康手帳・エプロン、三角布 / お子さんの離乳食無料
申込 / 2月20日(月)まで。お子さん、ご夫婦一緒でも参加できます。



心の健康相談

心が沈みがち、元気が出ない、眠れない、アルコール依存、家庭内暴力などでお困りの方の相談を精神科医師がお受けします。

日時 / 2月15日(水)午後1時30分～3時
会場 / 健康センター
申込締切 / 2月14日(火)

AAグループミーティング

アルコール依存を正しく理解し、互いに話し合うことで断酒継続をしています。

対象者 / アルコール依存やお酒で体調をこわしている方、家族、友人
日時 / 毎週水曜日 午後7時30分～午後9時
会場 / 健康センター

心の健康講演会

地震から1年がたちました。しかし、これからも復興という不安定な環境の中、子どもたちは成長していきます。地震を体験した子どもに見られる反応や対応のポイント、専門医療機関の相談はどんなときに必要か。

子どもの直面している様々なからだ心の問題に大人ができることはなんなのでしょうか？ともに考えましょう。

申し込みはいりません。
日時 / 2月24日(金)午後7時～9時
会場 / サンプラザ大ホール
テーマ / 「心のメッセージ」「震災が子どもの心身に与える影響～大人が子どもにできること～」
講師 / 新潟大学大学院医歯学総合研究科助教授田中篤さん



乳幼児の健康診査

会場は健康センターです

4カ月児健康診査

日時 / 2月1日(水)午後1時～1時15分受付
対象 / 平成17年9月生まれ
持ち物 / バスタオル、母子健康手帳、替え用のオムツ
その他 / 離乳食講習会を同時実施



10カ月児健康診査

日時 / 2月2日(木)午後1時～1時15分受付
対象 / 平成17年3月生まれ
持ち物 / 母子健康手帳、替え用のオムツ
その他 / 離乳食後期の講習会を同時実施

1歳6カ月児健康診査

日時 / 2月15日(水)午後1時～1時20分受付
対象 / 平成16年7月生まれ
持ち物 / 母子健康手帳
その他 / 歯科検診を同時に行いますので、歯をみがいて来てください。

2歳児歯科検診

日時 / 2月16日(木)午前9時～9時10分受付
対象 / 平成16年1月生まれ
持ち物 / 母子健康手帳、お子さんのハブラシ
その他 / 幼児食講習会と歯科衛生士によるブラッシング指導があります。歯をみがいて来てください。



3歳児健康診査

日時 / 2月22日(水)午後1時～1時20分受付
対象 / 平成15年1月生まれ
持ち物 / 目と耳のアンケート、生活習慣アンケート、母子健康手帳
その他 / 尿検査、歯科検診も同時に行います。歯をみがいて来てください。また会場で採尿しにくいお子さんは、清潔な容器に尿を入れてお持ちください。

* 発熱など、普段と違う症状のあるお子さんは、翌月の健診日においでください。

健康 の情報

2月の予定



問い合わせ・申し込みは
健康センターへ

☎ 83-3640

地域健康相談(夜間)

震災後、生活習慣の変化や生活再建で心身ともに疲労が蓄積し、体調の変化がくるころです。そこで、医師による健康相談会を実施します。

お気軽においでください。

地域健康相談日程表

開催日	会場	担当医師
2月7日(火)	千谷第1応急仮設住宅集会所	北村雄哉医師(北村医院)
2月10日(金)	岩沢林業会館	家里裕医師(小千谷総合病院)
2月17日(金)	片貝総合センター	斎藤六温医師(厚生連魚沼病院)
2月21日(火)	健康センター	根元純一医師(根元整形外科医院)

時間 / 午後7時30分～9時

内容 / 医師による健康相談、血圧測定など

健康手帳をお持ちの方は、当日ご持参ください。

問い合わせ / 健康センター ☎83-3640

認知症をお世話する家族のつどい

認知症介護について情報交換を
しませんか。申込はいりません。

当日会場においでください。

日時 / 2月7日(火)午前9時30

分～11時

内容 / 座談会「一人ひとりの思
いを大切に」

会場 / 健康センター



お年寄りの心の相談会

物忘れがひどい、
やる気が出ないなど
で、お困りの方やそ
の家族の相談を精神
科医師が無料でお受
けします。



日時 / 2月27日(月)午後1時30分～3時30分

会場 / 健康センター

申込締切 / 2月24日(金)



『はたちの献血』キャンペーン実施中

1～2月は「はたちの献血」キャンペーン期間です。これは、新たに成人式を迎える「はたち」の若者を中心として広く献血思想の普及を図るとともに、冬季における献血者の確保と安全な血液確保の一層の推進を図ることを目的としています。

次のとおり献血会場を設置しますので、みなさんのご協力をお願いします。

献血の日程

期日 / 2月8日(水)

時間・会場 / 午前9時～午前10時30分

東京電力(株)信濃川電力所

時間・会場 / 午前11時30分～午後0時30分

JA 越後おぢや

時間・会場 / 午後2時～4時

パナソニックコミュニケーションズ(株)

献血功労者の表彰

次の方が表彰されました。(敬称略)

献血50回 / 吉田武男(四ツ子)

献血30回 / 岡洋子(高梨)

塚田雪子(船岡3)

献血10回 / 新保春夫(平沢1)

風間普美子(船岡2)

福原和弘(上沢)

おぢや風船一揆スタッフ募集

小千谷観光協会 ☎83-3512



小千谷に春を告げる風物詩～雪原に復興の夢乗せて～第30回記念 白と光の祭典「おぢや風船一揆」を、2月25日(土)・26日(日)の2日間開催します。この祭典を盛り上げていただくためのボランティアスタッフを募集します。

募集人数 / 20人 (薄謝進呈)

期間 / 2月25日(土)～26日(日)

業務内容 / 熱気球の競技補助やアトラクションの運営補助などです。

申込 / 2月3日(金)までに小千谷観光協会へ

2月おはなしの会

図書館 ☎82-2724

ボランティアグループによる2月のおはなし会

毎週火曜日午後3時30分～4時

2月7日、21日、28日

(14日は休み)

毎月第3日曜日は蔵書点検のため休みです。

会場 / 図書館 1階おはなしの部屋
問い合わせ / 図書館

第54回 市民かるた大会

公民館 ☎82-9111

日時 / 1月29日(日)午前9時30分～ (受付午前9時～)

会場 / 市民会館和室

競技区分 / A級(中～上級) B級(初心者)

小学生級

参加費 / 小・中学生 1人300円、

高校生・一般 1人500円(当日徴収)

申込 / 封書またはFAXにて1月23日(月)までに下記へお申込みください。氏名、住所、電話番号、学校名、学年、出場級を明記のこと。〒947-0053小千谷市千谷川4-6-31 広井瑞江

FAX 0258-82-4098

その他 / 申込は当日会場でも受け付けます。昼食は各自でご用意ください。入賞者には記念品を差し上げます。

問い合わせ / 小千谷かるた協会・広井瑞江(☎82-4098)または公民館まで



親子で豆まき

わんパーク ☎81-7564

節分の行事を親子で楽しみましょう。紙芝居やダンスもあります。



日時 / 2月1日(水)午前10時30分～11時15分

会場 / サンラックおぢや

対象 / 入園前の幼児と保護者

定員 / 70組(定員になり次第締切・無料)

申込 / 1月25日(水)までにわんパークまたは公民館へ☎82-9111

小千谷市小中学校教育美術展

学校教育課 ☎83-3519

市内小中学生による教育美術展が開催されます。

ぜひ、ご来場ください。

日時 / 2月10日(金)、11日(土)、12日(日)午前9時～午後6時

13日(月)午前9時～午後3時30分

会場 / サンプラザ3階

展示作品 /

平面作品(絵画・デザイン・版画など)

立体作品

賛助作品(市内の幼稚園・保育園、高校生の作品)

震災復興祈念小千谷能パネル展を開催

小千谷市出身の能楽師西村高夫さんらによる震災復興祈念小千谷能が行われます。

チケットは既に完売していますが、市民会館ホワイエで能面や能舞台の写真がパネル展示されます。どなたでもご覧いただけますのでぜひおいでください。

展示日時 / 1月22日(日)午前10時～午後5時

会場 / 市民会館ホワイエ
問い合わせ / 社会教育課
☎82・9111

大崩地区雪祭り開催

伝統の大崩地区雪祭りが開催されます。ぜひ、おいでください。

日時 / 1月15日(日)午前10時開会

場所 / 大池ふるさとセンター

内容 / 十二講、雪上運動会、餅つき、

午後11さいの神

問い合わせ / 岩沢連絡所
☎86・2002

「農業所得収支内訳書作成個別指導会」を開催

農業所得のある方を対象に、確定申告用「収支内訳書」の作成のための個別指導会を開催します。

期日 / 1月25日(水)・26日(木)・27日(金)・30日(月)
時間 / 午前の部 = 午前9時～正午、午後の部 = 午後1時～4時 1人当たり50分

会場 / 市役所4階 第2委員会室

対象者 / 平成16年分の農業収入が200万円以上300万円以下の人

申込 / 1月20日(金)までに税務課に電話で事前予約が必要です。

指導 / 小千谷税務署職員ほか

主催 / JA越後おぢや・小千谷市

連絡先 / 税務課市民税係 ☎83-3508 内線241～244

人数の関係で受付できないときがありますので、ご了承ください。



市民スキー大会(クロスカントリー)

社会体育課 ☎83-0077

第52回市民スキー大会(クロスカントリースキー競技会)の参加者を募集します。

期日 / 2月19日(日)

時間 / 受付 = 午前8時まで

開会式 = 午前8時30分～

会場 / 白山運動公園

個人競技 /

男子 = 一般

(年齢により

1部～4部)

高校生、中学

生、小学生

(学年別)

女子 = 一般、高校生、中学生、小学生(学年別)

リレー競技 /

一般(年齢などにより1部・2部・混成、走者4人)

中学生男子(走者4人)

中学生女子(走者4人)

小学生男子(走者4人)

小学生女子(走者4人)

オープン(走者4人)

重複登録はできません。

参加資格 / 市内に在住または在勤・在学の小学生以上の方

参加無料

申込 / 1月25日(水)までに総合体育館内社会体育課へ

その他 / 積雪状況による開催の可否は2月16日(木)に決定します。

今年度はアルペン競技は行いません。



確定申告会場が変更になります！

2月からの所得税の確定申告会場が、小千谷税務署からサンプラザへ変更になります。

期間中は、小千谷税務署での確定申告の相談は行っておりませんのでご注意ください。

開設期間 / 2月1日(水)～3月15日(水) 土・日・祝日を除く

受付時間 / 午前9時～正午、午後1時～4時

会場 / サンプラザ 第2・3ホール

問い合わせ / 小千谷税務署 個人課税第一部門 ☎83-2093

錦鯉の里 1月31日は休館

飼育錦鯉の魚病一斉治療・予防を行うため、1月31日(火)を休館させていただきます。

問い合わせ / 錦鯉の里 ☎83-2233

市税等の納期限

1月31日(火)

国民健康保険税(1月分)

介護保険料(1月分)

今冬は、12月から記録的な大雪に見舞われ、積雪の多い地域では雪崩の発生が心配されています。
市民のみならず、道路や裏山など、身近な場所での雪崩発生に十分に警戒してください。
また、雪崩の発生を見つけた際には、通報してください。
通報先 / 市建設課
☎83・3514



雪崩に警戒してください

中越大震災復興基金事業から新規メニューの追加 企画財政課☎83-3507

次のとおりメニューが追加されました。手続きなど詳細にについては申請窓口などにお尋ねください。

復興基金ホームページ <http://www.chuetsu-fukkoukikin.jp/>でも具体的なメニュー内容や、申請に必要な書類など詳しい情報が掲載されています。

事業区分	メニューの名称	内 容	対象者	申請・問い合わせ先
被災者住宅支援	被災者住宅支援対策事業（住宅債務二重ローン）償還特別支援補助金	被災した受託に係る既存債務があり、国の「防災集団移転促進事業」などにより災害の危険性が高い地域から集団移転をし、新たな借入をして住宅を再建する場合に、既存債務に係る支払利息を助成します。 補助対象経費 / 平成16年10月23日以前に金銭消費貸借契約を締結した公的及び民間の住宅ローン（既住住宅債務） 補助額 / 新たな住宅債務の最終資金交付日以降最初に到来する既住住宅債務の償還日から5年間の既住住宅債務に係る支払予定利子額に相当する額 ただし、新たな住宅債務の借り入れにあわせて既存債務を借り換えた場合は、借換後の支払い利息のうち既存債務分を対象とする。	集団移転促進事業などにより、災害危険区域にしていされた区域から移転する者	小千谷市建設課都市計画係 ☎83-3514

住宅再建の相談会を開催

地元企業による震災復興のための住宅再建相談会を開催します。

子ども向けのアトラクションなども予定しています。



日時 / 1月28日(土)午前9時30分～午後4時30分

場所 / サンプラザ 3階大ホール

内容 /

- ・住宅再建相談、震災関連相談、借入相談
- ・住宅関連器機の展示、耐震構造住宅の紹介
- ・住宅診断現地訪問（有料）
- ・招福もちまき大会、丸太切り大会など

主催 / 小千谷商工会議所建設工業部会

問い合わせ / 小千谷商工会議所

☎81-1300

雑損控除税務相談会

災害を受けた住宅などの修繕や取り壊しを行い、代金を支払った方で、一定の要件に該当する方は、所得税の軽減措置（雑損控除）の適用を受けられる場合があります。雑損控除についての税務相談会を開催しますので、ぜひお越しください。なお、収入が給与所得や公的年金所得の方の還付申告の相談も受付します。

日時 / 2月1日(水)～3日(金)午前9時30分～正午、午後1時～3時30分

会場 / サンプラザ3階 第1ホール

持ち物 /

- ・修理費用で支出した領収書など
- ・平成16年分 所得税の確定申告書（控）
- ・筆記用具、電卓など
- ・平成17年分 所得税の確定申告書（税務署から送付された方）

還付申告書を提出される方は、以下の書類も持ちください。

- ・平成17年分 給与所得の源泉徴収票（原本）
- ・平成17年分 公的年金等の源泉徴収票（原本）
- ・印鑑
- ・還付金振込先の口座番号（申告者名義の口座）
- ・医療費控除を受ける場合は、医療費等の領収書
- ・源泉徴収票に記載された以外の社会保険料や生命保険料、損害保険料の控除を受ける方は、控除証明書または領収書

問い合わせ / 小千谷税務署 個人課税第一部門

☎83-2093



お知らせ

Information

小千谷市役所 ☎83・3511(代)
http://www.city.ojiya.niigata.jp/

ちぢみの里の利用券が当たる

広報クイズ

解答をはがきでお送りください。
正解者の中から、抽選で3人に
ちぢみの里の利用券を贈呈します。
市報おぢやの感想もあると担当は
うれしいのですが...

問題 小千谷市出身
の井佐英徳選手は2月
からトリノで開催され
る冬季オリンピックに
出場します。さて、何
という競技に出場する
のでしょうか。



リュージュ トライアスロン
バイアスロン (ヒントはp8)

応募先 〒947-8501小千谷市役所総務
課広報広聴係あて(住所不要)

締切 1月24日(当日消印有効)

12月号の答えは、13Aでした。抽
選の結果次の方が当選しました。

五十嵐優子さん、吉原一英さん
瀬沼マスさん

人口と世帯数(12月31日現在)

男	20,092人	10 出生 23人
女	20,545人	7 死亡 33人
合計	40,637人	17 転入 62人
世帯数	12,320世帯	8 転出 69人

事故発生状況(12月31日現在)

	17年12月まで	16年12月まで
件数	246件	206件
死者	3人	5人
傷者	324人	253人

消防本部出動状況(12月31日現在)

	17年12月まで	16年12月まで
火災	29件	41件
救急	1,577件	1,564件

気象データ12月

	17年12月	過去10年の平均
平均気温	1.0	3.6
最高気温	10.0	14.7
最低気温	-4.2	-2.8
降水量計	563.0mm	393.0mm

小千谷地域消防本部速報値

利子補給制度の申込をされた方へ

利子補給金の請求をお忘れなく

建設課 ☎83-3514

市では(財)新潟県中越大震災復興基金(通称「基金」)事業の住宅
再建資金に対する利子補給制度の申請を受け付けましたが、年が
変わりましたので昨年(平成17年)中にお支払いになった住宅ローン
の利子に対する利子補給金の請求ができます。

利子補給制度の利用を申し込み、かつ昨年(平成17年)中に1回
でも住宅ローンを返済された方は、お早めに建設課に必要書類を
提出してください。

提出書類 /

- ・利子補給金交付請求書(兼実績報告書)
- ・金融機関が発行した昨年(平成17年)12月末現在の借入金の残
高証明書の写し
- ・金融機関が発行した償還予定表の写し(平成17年中の部分のみ)
- ・振込先の通帳の写し(口座番号と口座名義人(カタカナ)が分か
る面のみ)

提出期限 /

2月末日までに基金事務局に書類を送付する必要がありますの
で、2月15日(水)までに建設課に提出してください。

被災宅地復旧工事補助制度の改正

新潟県中越大震災で被害を受けた宅地の復旧工事を行う場合に、
金融機関から融資を受けることができない方に対して、(財)新潟県
中越大震災復興基金がその経費の一部を補助する支援制度が改正
されたのでお知らせします。

改正点

- ・補助対象者の要件を変更
変更内容
- ・年齢、返済資力などの要件を撤廃し、「住宅金融公庫などからの
融資が困難な者」としました。
- 申請方法の変更点
- ・65歳以上の高齢者のみの世帯は従来どおり
- ・それ以外の世帯は、所得証明書などに替え、当該宅地の復旧工
事に係る融資を金融機関に申し込んだが、融資を受けられな
かった旨の「申立書」を指定様式で提出してください。

従来補助の対象にならなかった方でも、今回の改正により申
請できる場合がありますので、ご不明な点は下記までお問い合わせ
ください。

問い合わせ / 建設課 ☎83-3514



船岡公園から魚沼の山々と山本山大橋を望む

表紙

新年開けましておめでとうございます。あつという間の大雪となりました。雪はそのごつたくさえなければまことに清浄で美しい景色を演出してくれます。小千谷人の血の中には雪に苦しまされてくどきながらも雪をどこかで愛しているところもあるようです。

そして私は雪の中を流れるこの大河信濃川が最も美しく悠然とした気品のある流れを見せるのは、まさに小千谷地内の景色だと思っています。私はその自負をもって新春の祝い酒とします。乾杯！

(絵と文は西脇正久さん)

編集後記

新年おめでとうございます。昨年からの思わぬ雪に正月も大変だったみなさんも多かったのではないのでしょうか。

市報おぢやは今年も震災関連の情報、復興の状況などを中心に編集しみなさんにお届けしていきたいと考えています。

今年も市報おぢやをよろしくお願ひします。